

第2章 土地利用と開発

1. 現況

市では、昭和30年代後半から、福岡市・北九州市の2つの政令指定都市近郊の住宅地として開発が急速に進み、市全体の面積に占める住宅地面積の割合は年々高くなってきています。

表 2-1 土地利用の割合

区分	平成25年		27		29		令和元年度		3	
	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)
農用地	1,712	32.5%	1,667	31.6%	1,658	31.0%	1,639	31.1%	1,624	30.8%
山林	1,264	24.0%	1,249	23.7%	1,248	24.0%	1,242	23.5%	1,237	23.4%
宅地	827	15.7%	857	16.3%	864	16.0%	823	15.6%	898	17.0%
その他	1,467	27.8%	1,497	28.4%	1,506	29.0%	1,572	29.8%	1,517	28.8%
合計	5,270	100.0%	5,270	100.0%	5,276	100.0%	5,276	100.0%	5,276	100.0%

【資料：福津市税務課（固定資産概要調書）】

表 2-2 農地転用面積の推移

(単位：ha)

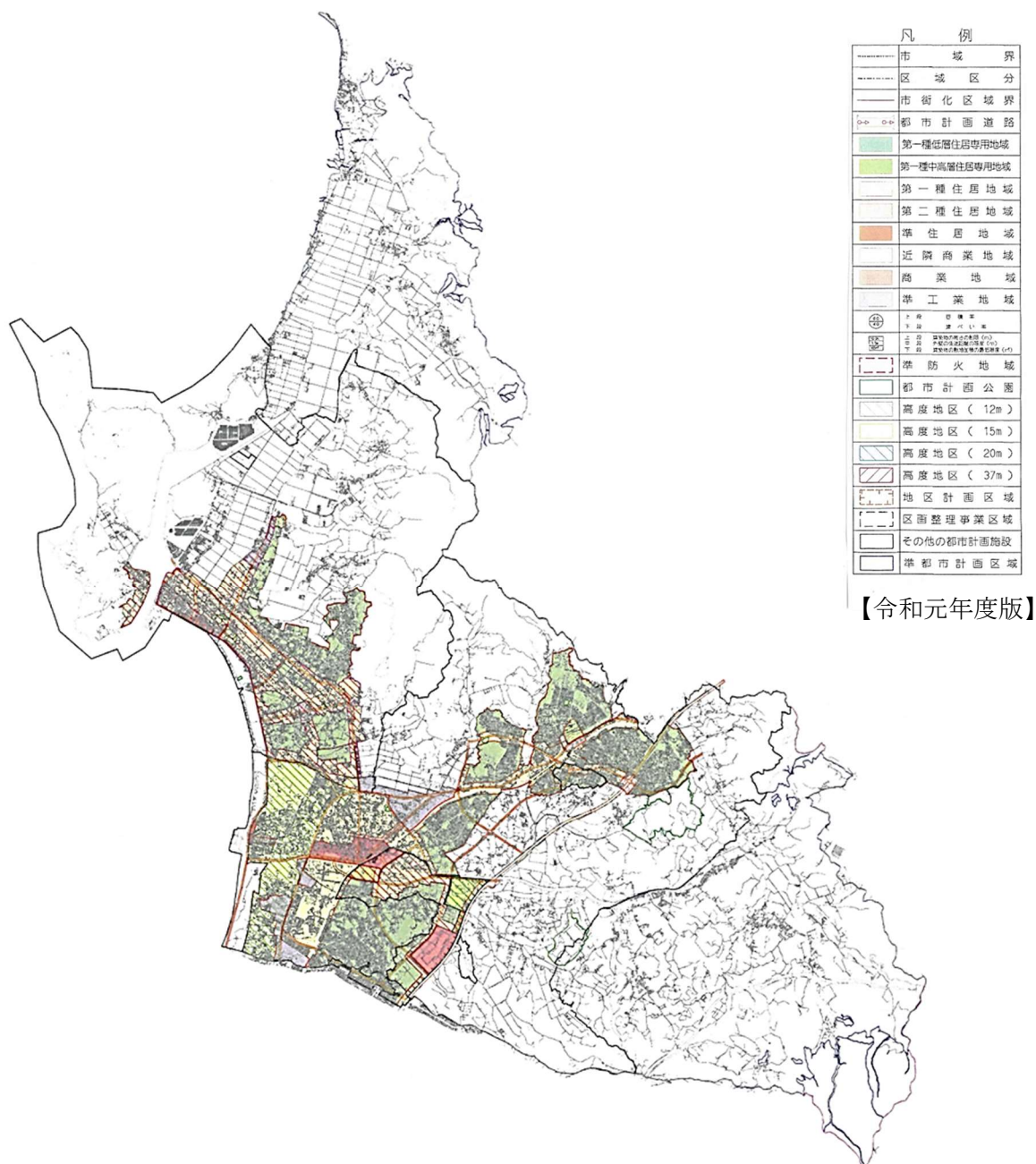
区分	平成27年	28	29	30	令和元年度
総数	14.0	5.7	5.1	4.5	4.5
住宅用地	4.9	3.7	3.8	3.4	3.4
その他の建物施設	8.3	1.8	1.1	1.0	1.0
不明	0.6	0.3	0.0	0.2	0.2

【資料：福岡県 土地利用動向調査】

2. 土地利用計画

市は、総面積 5,270ha のうち約 66% の 3,475ha が都市計画区域に指定され、そのうち福岡広域都市計画が 1,918ha、津屋崎都市計画（非線引き）が 1,557ha と 2 つの都市計画からなっています。

図 2-1 都市計画総括図



【令和元年度版】

【資料：都市管理課】